



市民講座が行われました

地域医療連携推進担当係長 ちぢいわ ひろみ
千々岩 洋美



去る平成28年6月25日(土)に「認知症を知ろう」をテーマに市民公開講座を開催しました。九州各地には梅雨被害が報道されていましたが、当日は雨も上がり91歳の方をはじめとして59名の方に出席して戴きました。

まずは、精神科主任部長の白石康子医師から「認知症とは」の講演を行いました。日頃、疑問に思う物忘れと認知症の違い、認知症の症状、認知症の方への接し方など、ユーモアを交えてお話がありました。参加者は自分のことと置き換えて安心したり、身近な人への接し方を考えたりして講演に聞き入っていました。

次に、武田優子作業療法士が「認知症を予防しよう～みんなで体を動かしましょう～」と題して講演を行い、リハビリテーション技術課職員4人が実技指導を行いました。

左右、上下肢にそれぞれ違う運動をさせることが思いのほか難しく、「あれ?!」「難しいね」といった声が聞こえ、笑いの絶えない時間となりました。

参加者からは、「このような講座を今後も開いて欲しい」、「力強く支えてもらっていると感じた」とのご意見を戴き、盛況のうちに終了しました。当日の様子はJ:COM九州で報道されましたので、ご覧になられた方もいらっしゃるかもしれません。

北九州市立八幡病院は、このような講座を年間複数回開催しております。市政だよりや市民センター等にチラシを設置してお知らせしておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

院内で働くスタッフの紹介バトンリレー!

スタッフ紹介



放射線技術課
くちよう あきひろ
九町 章博

1. どのような仕事をしていますか?

CT検査をメインとし、放射線を使用した検査全般に従事しています。

2. 頑張っていることはなんですか?

診療放射線技師にも認定制度というものがあり、「CT認定技師」と「救急撮影認定技師」を取得しました。これからも患者さんが安心して検査に臨めるように日々努力して参ります。

3. 趣味・特技は何ですか?

今回紹介してくれた光末さんや他病院スタッフと一緒にバレーボールをしています。冬にある試合での優勝目指して、仲良く楽しくやっていたらと思います。バレーにご興味のある方はどなたでもお声かけください。一緒に汗を流しましょう!

4. 自分の性格は?

合理主義だと思います。そのおかげもあってか家と病院がすぐ近いです。なにかあればすぐに駆けつけます!

5. これから挑戦したいことは?

去年禁煙に成功したので、今はご飯が美味しいです! 出身が鹿児島なので、北九州の美味しい所を発掘していきたいです。今は美味しいからあげを求めています。ご存知の方いらっしゃいましたら是非教えてください。

6. 最近うれしかったことは?

二人の子供がいるのですが、下の子(1歳)が「パパ」と言った気がしたこと(笑)

7. 今、困っている事は?

これは就職してからずっとの悩みなのですが、第一印象が悪いことです。患者さんには出来るだけ悪い印象を与えないよう笑顔での対応に心掛けています。

8. 患者さんに何かひとことお願いします。

検査内容などでお困りのこと、分からないことがあったら何なりとお尋ねください。また笑顔が足りないなどのご指摘もどしどしお待ちしております!

9. 次にどなたか紹介してください。

同じ課になって恐縮ですが、34歳・スポーツ万能で結婚相手を大募集している入部さんを紹介させていただきます。いい出会いがありますように。(笑)

編集後記

厳しい暑さもようやく和み、うっすらと秋空を感じられる季節となりました。夏にたまった疲れを癒し、体調と整えて冬に備えましょう。次号もお楽しみに!!

看護部 手術室 堀 智恵美
ほり ちえみ

やはた病院 ニュース

北九州市立八幡病院広報誌 第45号

2016年10月25日発行 発行・編集:八幡病院広報委員会

変形性膝関節症に対する手術療法

～高位脛骨骨切り術～

整形外科部長 池井 大輔
いけい だいすけ

膝関節痛を示す疾患は若年から高齢となるまで様々なものがありますが、変形性膝関節症は中高齢者が徐々に関節の変性を伴って発症する疾患です。

単純X線等の検査で比較的容易に診断は可能ですが、ガイドラインも含め非常にたくさんの治療が乱立している状況です。

手術治療に関しても膝の状態に応じて様々なものがありますが、今回は高位脛骨骨切り術(以下HTO)について少しご紹介致します。

現在当院ではHTOの中でも内側開大式高位脛骨骨切り術(以下OWHTO)という手術を行っております。脛の骨の膝に近い位置で骨を切り、切った内側の隙間を開けることで下肢全体のバランスを矯正し、膝の内側に体重がかかりにくくする(O脚を治す)手術です。開大部には人工骨

を挿入し、金属プレートで固定することで強固に固定が可能であるため、術後早期からの歩行訓練が可能となります。

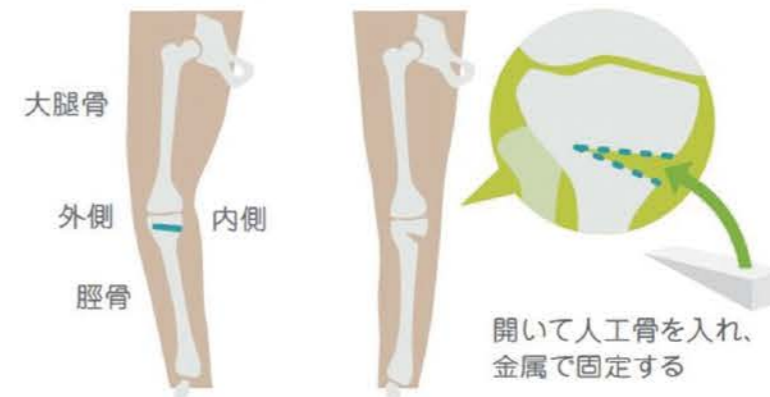
OWHTOの利点として、従来行われていた方法と比較し早期からの歩行訓練が可能であること、術前の関節可動域が保てること、自分の骨関節が温存でき、抜釘まで行えば金属インプラントが体内に残らない事があります。

逆に欠点としては、広範囲の変形性膝関節症には対応できないことや骨切りしたところの骨が治るまでにやや時間を要することがあります。

HTOは特に活動性が高く、スポーツ活動等を続けたい方や、自分の骨や関節を温存したい方には有用な治療の一つと考えられます。

詳しくは当院ホームページを参照下さい。

手術前/O脚 手術後/X脚



新任スタッフの紹介

看護部
西3階病棟 **杉本 理恵** (すぎもと りえ)

患者さんと医師とのかけ橋になりたい看護師を目指して頑張ります。

看護部
西4階病棟 **稲葉 華慧** (いなば かえね)

(はじめまして、西4階病棟の稲葉と申します。まだまだ未熟者ですが、笑顔で精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

看護部
西4階病棟 **内田 斐子** (うちだ あやこ)

西4階病棟の内田です。小児科の看護師に2年ほど勤務していたので、ヒモオキです。毎日笑顔で頑張ります。お願ひします。

看護部
西4階病棟 **小川 彩妃** (おがわ あやめ)

西4階病棟に配属になりました。笑顔で頑張ります。お願ひします。

看護部
西5階病棟 **中村 有希** (なかむら ゆき)

患者様の思いに寄り添った看護を提供できるように頑張ります。

看護部
西6階病棟 **高瀬 萌加** (たかせ もえか)

患者さんと笑顔にできるのが頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

看護部
西6階病棟 **原口 幸子** (はらぐち さちこ)

皆様に笑顔で接していきたいように、自分らしい看護をしていきます。

看護部
集中治療室 **岩見 優志** (いわみ ゆうし)

安全で安心な看護が提供できるように頑張ります。よろしくお願ひします。

看護部
集中治療室 **東谷 真衣** (ひがしたに まい)

患者様のために安心していただけるよう関わっていきます。

看護部
東4階病棟 **正代 春菜** (しょうだい はるな)

未熟な私ですが、子ども達やご家族の役にたてるよう日々努力していきます。

看護部
東4階病棟 **辻 優季恵** (つじ ゆきえ)

これからのモチベーション、早く一人前の看護師になれるように頑張ります。

看護部
東5階病棟 **浦田 琴乃** (うらた ことの)

処置やケアなど、慣れたいので頑張ります。先輩方の指導のもと、日々頑張ります。ヒモオキです。よろしくお願ひします。

看護部
東5階病棟 **和田 捺季** (わだ なつき)

日々、経験しながら成長していきたいです。

看護部
東6階病棟 **山本 祐希** (やまもと ゆうき)

毎日の業務に励むだけでなく、思いやりと感謝の気持ちを忘れずに頑張ります。

薬剤課
川上 莉奈 (かわかみ りな)

信頼される薬剤師になるため、自分にできる事を精一杯頑張ります。

放射線技術課
嶋田 千愛 (しまだ ちあき)

早く仕事に慣れるように頑張ります。よろしくお願ひします。

リハビリテーション技術課
作業療法士 **高木 邦男** (たかき くにお)

患者様の心と身体と、そして地域や日々の生活を支えていく作業療法士を目指します。

リハビリテーション技術課
言語聴覚士 **広山 奈奈** (ひろやま なな)

リハビリテーション課、言語聴覚士の広山と申します。こぼれやみこみの不自由な方にリハビリを行っています。よろしくお願ひします。

知 っておきたい感染症と予防対策のおはなし No.24

マイコプラズマ肺炎について

ICT委員会 感染対策チーム

季節の変わり目、コンコンと咳をしている方はいませんか?今回は、マイコプラズマ肺炎についてのおはなしです。今年のオリンピック・パラリンピックも終わりました。マイコプラズマ肺炎は、4年に一度大流行していたことからオリンピック熱とも呼ばれていましたが、現在は周期に関係なく流行しています。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマという微生物が原因で起こる肺炎で、潜伏期間は2~3週間です。初発症状は発熱や全身倦怠感で、数日後からコンコンと乾いた咳が出始め、解熱後も長期間乾いた咳が続きます。

感染経路は、主に飛沫感染で、マイコプラズマ肺炎にかかっている人の咳などで飛散した飛沫を吸い込むことで感染します。家族や周りのひとへ感染が広がらないよう、咳が出始めたらマスクを着けて予防しましょう。

軽い風邪だと思っても、咳が長く続くときには、早めに病院を受診しましょう。